

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和元年11月5日
タイトル	じょうずに刈れたよ！初めての稲刈り！2019
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年10月15日（火）福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組94名が、福山市東村町にある水土里ネット福山の組合員 かいのあきのり 廻野明倫さんのほ場で稲刈りの農業体験をしました。

6月に田植えをし、稲の成長を見学に来るなどして子ども達は稲刈りを楽しみにしていました。

子ども達は二組に分かれ、一組ずつ保護者の方と田んぼへ入りました。保護者の方も稲刈りは初めての方が多く廻野さんから「左手で稲を持つときは親指が上になるように持って、鎌は手前にひくようにして切る」と教えていただきました。



子ども達は、最初のうち保護者の方に手助けしてもらいながら恐る恐る鎌を手にしていましたが、すぐに一人で刈れるようになり上手にドンドン刈っていきました。

みんなが稲を刈り終わると、脱穀のためにコンバインに刈った稲を入れます。保護者や先生が協力してたくさん刈った稲をコンバインへ運びドンドン脱穀しました。



最後は、廻野さんがコンバインで颯爽と稲刈りをして見せてくださいました。みんなで約2時間かけて刈った面積をビューンと往復したら刈ってしまいました。子ども達は、カッコいいコンバインに見入っていました。保護者の方から「凄い機械じゃな！テレビドラマでしてたのみたい。」「コンバインですとあっという間じゃな。」と声があがっていました。最後に粃を一斉にうつすと「わーすごい」と歓声があがりました。

生産者の廻野さんは、このほ場でできたお米を保護者に販売しておられます。家庭で田植えや稲刈りの思い出とともに楽しい食事をされながら農業や自然などに関心を持ってもらえるきっかけになると思います。